

佐賀県競技力向上推進本部

第20回本部会議



**SAGA  
2024**  
国スポ・全障スポ  
新しい大会へ。  
すべての人に、スポーツのチカラを。

令和6年12月18日（水） 13：15～  
佐賀県庁 新館4階 特別会議室



# 報告事項

- (1) SAGA2024国スポ・全障スポの結果について・・・・・・・・・・別冊1,2
- (2) 第22回国スポ選手強化対策委員会について・・・P2
- (3) 第19回及び第20回パラスポーツ普及委員会について・・・・P3

## 報告事項（2）

### 第22回(R6.11.19) 国スポ選手強化対策委員会について

#### ○報告事項

- (1) 佐賀県競技力向上推進本部第19回本部会議について  
→質問・意見なし。
- (2) 令和6年度事業実施状況について  
→質問・意見なし。
- (3) 全国高校総体・全国中学校体育大会等結果について  
→質問・意見なし。
- (4) 第78回国民スポーツ大会の結果について  
→質問・意見なし。
- (5) 第19回佐賀県強化拠点校等設置検討専門委員会について  
→質問・意見なし。

#### ○協議事項

- (1) 令和7年度以降の育成強化事業（案）について
  - ・SAGA2024国スポ後の目標について  
国スポはもちろんのこと、国スポだけでなく、各競技団体の主要な大会も目標のひとつにしていく旨、事務局より回答。
  - ・SAGA2024国スポ後の中学生の強化について  
他県へ中学生が流出しているという話も聞いている。推進本部だけでなく、教育委員会とも連携をしながら強化を行っていく旨、事務局より回答。
  - ・SAGA2024国スポ後のメンター選手の活動について  
メンター選手については、できるだけ選手の意向に沿って、佐賀県で活動してもらえるように支援していきたい。  
また、メンター選手が指導者としても佐賀県に残ってくれるようサポートしていく旨、事務局より回答。

## 第19回及び第20回パラスポーツ普及委員会について

### 第19回（R6.6.10）パラスポーツ普及委員会 概要

#### ○協議事項

##### （1）令和6年度事業実施計画についての意見

特になし

##### （2）第23回全国障害者スポーツ大会パラスポーツ普及基本計画の改訂について 改訂の概要について説明し、改めて書面により意見を聴取し、次回委員会において改定の方向性を示すことを確認。

### 第20回（R6.11.26）パラスポーツ普及委員会 概要

#### ○協議事項

##### （1）第23回全国障害者スポーツ大会パラスポーツ普及基本計画の改訂について 書面による意見等を踏まえ、改定の方向性について説明

- ・計画は改定ではなく新規に作成すること
- ・対象とする競技を全国障害者スポーツ大会のほか、全国、世界規模での大会を対象とする等の方向性について検討し、次回委員会において内容を確定させることを確認。

##### （2）令和7年度事業計画（案）についての意見

- ・今後も活動継続することと新規事業の計画など、障がいのある方のスポーツ活動の機会が確保されることについては賛成。一方、それらを担う佐賀県パラスポーツ協会の体制強化が必要。



# 意見交換

- (1) 令和7年度以降の育成強化の方向性について . . . . . P6
- (2) 令和7年度以降のパラスポーツ普及の方向性について . . . . . P7

## 令和７年度以降の育成強化の方向性について

### 【これまでの基本計画目標】

\*R6目標 国民スポーツ大会における天皇杯獲得

\*R7以降 SSP構想に基づく競技力の維持



### 【SAGA2024後の取組方針（案）】

#### 1 取組の方向性《ポイント》

- ① 対象競技を国スポ競技に限定せず、競技スポーツ全般に拡大
- ② 中高生年代の育成強化に重点
  - ・高校：競技ごとの活動状況により支援方法を検討
  - ・中学：中体連、地域クラブへ支援し、競技団体が強化費のなかで支援
- ③ 指導者の養成確保を推進（資格取得支援など）
- ④ 競技団体の育成強化体制づくりを支援
- ⑤ 支援額は成果（実績）、取組状況等を考慮しメリハリをつける

#### 2 期間・目標

- ① 期間：2025～2031 年度（7年間）＝SSP 構想の中期目標
- ② 目標：毎年の全国規模の大会（インターハイ、国民スポーツ大会、日本選手権など）の入賞数を目標とする
  - ※各競技それぞれの最高峰の大会で結果を残すことに主眼



## 意見交換（２）

### 令和７年度以降のパラスポーツ普及の方向性について

#### 【これまでの基本計画目標】

|      | 現基本計画における目標（R6：完成期）   | 達成状況          |
|------|-----------------------|---------------|
| 団体競技 | 九ブロに出場できる種目数 12/12 種目 | 全12種目出場       |
| 個人競技 | 獲得するメダル数 140個         | 138人出場し131個獲得 |

令和７年度以降（定着期） 「SSP構想に基づく競技活動の継続」



#### 【SAGA2024後の取組方針（案）】

##### 1 取組の方向性「ポイント」

「SSP構想に基づく競技力の向上とすそ野拡大」

- ① 選手のスポーツ活動継続
- ② トップクラスのアスリートの育成
- ③ 対象競技を全障スポに限らず拡大
- ④ 普及のためのサポート体制整備
- ⑤ パラスポーツを楽しむ環境づくり

##### 2 期間・目標

① 期間：2025～2031年度（7年間） = SSP構想の中期目標

② 目標：

<競技力の向上>

県パラスポーツ大会～競技記録会～の参加者数や全国レベルの大会出場者数等を目標とする。

<すそ野拡大>

県パラスポーツ大会～みんなの大会～やパラスポーツ教室等への参加者数を目標とする。